

2025年 10月号 ぴらたんニュース



京都にちなんだ
話題をお届けします
京style



～おこぼ(こっぼり)～

花街により多少年齢は異なりますが、舞妓になりたいという方達は中学を卒業後、置屋に入ります。そこで約一年の修行を経て、一人前の舞妓としてデビューします。そもそも舞妓とは、芸妓になる為に修行している少女のことで、京都特有の存在です。舞妓は地毛を結いあげ、季節に応じたかんざしを頭に挿し、明るく華やかな着物を身に着け、「おこぼ(こっぼり)」と呼ばれる独特の履物を履きます。この「おこぼ」は舞妓の時だけ履くことができます。おこぼには二種類あり、白木の台は全ての季節用、側面に漆が塗られた黒色の台は夏用で、台には畳表が貼られています。おこぼを履いた舞妓が歩くと「こぼこぼ」と可愛い足音がすることから「おこぼ」と呼ばれるようになったといわれています。1年目の舞妓が履くおこぼの花緒は赤色で台の裏には鈴がついています。元々、おこぼは子供が履く下駄で、居場所が分かり易いように鈴がつけられたとの説もあります。2年目からは、ピンクやひわ色、水色等、花緒の色を変えていきます。ちなみに「おこぼ」はとても重い履物で修行中の舞妓にふさわしい履物とも言えます。三味線や舞をはじめ、お茶やお花等、様々な修行を経て20歳前後で芸妓になる「襟替え(えりかえ)」を行い、舞妓を卒業となります。



学校の象徴に欠かせない **学校旗**

消防団の士気に欠かせない **消防団旗**

勝利の証に欠かせない **優勝旗**

【取扱商品】

社旗 横断幕 販促のぼり旗 のれん 応援団用品
祭り絆天 山車幕 神社寺院幕 神社のぼり旗 鈴緒
劇団幕 舞台幕 演台カバー マーチングバンド横幕



株式会社 平岩

〒604-0907 京都市中京区河原町通竹屋町上ル大文字町 241

TEL : 075-222-1041 / FAX : 075-222-0843

MAIL : web@kyoto-hiraiwa.co.jp

※ 配信停止をご希望の方はお手数ですが
「配信停止」と記入いただき、ご返信ください

今すぐ
アクセス!

京都 平岩